

辺野古・高江の緊迫する現場に立つ

沖縄タイムス 阿部 岳さん来る

辺野古・高江 — 闘いの現場から

— 日本国憲法と日米安保を問う —



第9条の会なごや 第16回総会記念講演

と き 2月4日(土)

15:00 ~ 17:30

ところ 名古屋YWCA ビッグスペース

阿部岳 (あべたかし) さん

沖縄タイムス社北部報道部長
1974年東京都生まれ 上智大学
外国語学部卒 97年沖縄タイム
ス社入社 政経部牽制担当 社会
部基地担当 フリーキャップを経
て現職 著書『観光再生—テロか
らの出発』

参加費 500円(学生無料)

主 催 第9条の会なごや

協 力 愛大九条の会 中区九条の会

<連絡先>

TEL 052-684-5873

E-mail a9s-na go y a @hi3.en joy .ne.jp

数秒ずれていたなら民家に重大な被害をもたらしたであろう、オスプレイの墜落事故。その離発着帯(オスプレイパッド)の完成を祝うバカがどこにいるか! これが沖縄の声だ。

「墜落ではない、不時着だ」と言い募り、米軍の言うまま飛行訓練再開を承認した安倍政権。沖縄県民は4200名で抗議集会を開催し、オスプレイ撤去・辺野古新基地建設阻止・米軍基地撤去の声をあげた。運動のリーダーが逮捕・長期拘留されても非暴力の抵抗は続いている。沖縄の米軍基地強化は戦争する国づくりそのものだ。本土での私たちの運動が問われている。緊迫する辺野古・高江の現場に立つ「沖縄タイムス」阿部岳さんに語っていただきます。



自衛隊の大型ヘリで重機を運ぶ